

# 前回の議論を踏まえた 取組の改善案

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課

## ○第1回議事要旨より

(科学技術週間の意義について)

- ・ 科学者の意識を変えるきっかけとなるような科学技術週間
- ・ 科学への関心が比較的低い層に対して参加を促す
- ・ 「科学技術週間といえば〇〇」というような認識
- ・ 発信方法を工夫

(科学技術週間関連行事の在り方について)

- ・ 食やアートなど、科学とは一見関係のなさそうな分野を取り入れた関連行事
- ・ 科学技術週間の期間をゴールデンウィークまで延ばす
- ・ 本来は身近にあるはずの科学
- ・ 科学にその地域ならではの要素を入れる
- ・ 各地にある大学との連携
- ・ 完成品がどのようにつくられたのかの過程を見せる
- ・ 科学者と実際に会って対話することのできる場

# 科学技術週間の期間

## ○閣議了解による「科学技術週間」

4月18日（発明の日）を含む一週間（月曜日から日曜日）

## ○科学技術週間の位置付け

常に行われている科学コミュニケーションについて、新しい年度が開始した当該時期に象徴的な行事を集中させることで科学コミュニケーションの場や取組の周知を図る。



科学技術週間行事としてGW中の行事についても積極的に実施するよう奨励（推進要綱で周知）し、実施的に期間延長。

# 標語(毎年実施している募集企画)の改善案

従来の標語の取組は、各年違う企画を実施し、結果の公表を4月18日に合わせて実施してはどうか。その際、科学技術週間の趣旨は変わらないため、標語に代わる科学技術週間のキャッチフレーズを別途設定してはどうか

## 企画例① 未来の科学技術予想

5年後、10年後について、

○研究者→自らの研究で達成させたいこと

○非研究者→できたらいいな、と思うこと

を募り、TOP10を公表。5年後、10年後に答え合わせ(ができるとうい)。

募集する際に「お題」(食に関する科学技術、など生活に密着したもの)を設定し、参加しやすいようにする

## 企画例② 昨年(年度)の発明、発見ベスト10

前年(年度)に登録された特許、科学技術に関する発見について委員会で一定数に絞った候補から印象に残っているもの投票してもらい、ベスト10を選定 →「今年の」にすると、他の年末行事の陰に隠れる?

## 企画例③ 面白かった理科(生活科)の授業(単元)

学年ごとにその学年で学習した科学に関する授業で「面白かった」と感じたものをその理由などと共に募集し、公表。今年学習する内容に対して期待感を持つことができれば良いのではないか

## 企画例④ 昨年(年度)を象徴する科学技術に関する「ことば」

前年(年度)を象徴する科学技術に関する「ことば」(単語、発言など)を募集し、選定

# 標語に代わる科学技術週間の意義を表すことば(キャッチフレーズ)

科学技術の過去・現在・未来を見つめ、その発展と我々の生活について考える対話は常に行われているが、その対話について今一度意識をするための週間

(過去・現在)

- 各地に存在する科学技術に触れ科学技術が身近にあることを再発見する
- 今の生活が科学技術により支えられていることを再発見する

(未来)

- 未来の科学技術が現在進行形で生み出されていることを再発見する
- 研究により未来がどのような姿になるのかについて語り、思い描く

特に、研究者・研究機関は自らの研究について多くの人に語りかけ、これからの社会が研究によりどのように変わり得るのか、未知への探究がどのように進んでいくのかについて対話を集中的に行うことで、自らの研究が文化となるよう努める



案① 科学技術は文化だ

案② 今もあなたのそばにある科学技術

案③ (3~5年おきに公募し、国民参加の下選定)

## ○科学技術は文化だ

人類が誕生して数百万年 人類はこの世にあるもの・ことを  
探究して 発見して 発明して 製作して 失敗して 改良して  
その成果を共有してきました

人類のこの繰り返しは今もなお続けられ そして私たちの今の暮らしがあります

人類のこの繰り返しの積み重ねを科学技術と呼ぶのなら

人類のこの暮らしの積み重ねを文化と呼ぶのなら

科学技術は文化だ

## ○今もあなたのそばにある科学技術

スマホのアラームで目を覚ます

来ていたメッセージにとりあえず返信

「ごめん 寝落ち」 「ゆるさぬ」

あいつはいつも返信が速い

テレビからは情報番組のニュースと天気予報

昨日の残りを冷蔵庫から出してレンジで暖める

服を着替えたり、身なりを整えて、足早に家を出る

電車に揺られて駅から徒歩5分

「おはようございます」 こうして今日が始まる

その日常、科学技術に支えられています

今もあなたのそばにある科学技術

その他以下の取組案については、今後の議論、予算、関係省庁との調整等が必要であるが、調整が整った場合、適宜実施してはどうか

## ○ 関係省庁との協力・協働

「発明の日」は現在の特許法にあたる「専売特許条例」が4月18日に公布されたことに由来しており、特許庁との協働が考えられる。また、「科学技術」全般については、内閣府（科学技術政策担当）と親和性が高く、内閣府との協働も考えられる。（その他の省庁でも、科学技術（研究等）に関連している分野については協働について検討が可能ではないか）

## ○ 「科学の名所100選(仮称)」の科学技術週間行事化

「名所」を紹介し、身近にある科学技術を発見していただくものであり、科学技術週間の趣旨に合致することから、当該行事を科学技術週間の行事として位置付ける（実施方法等については、議題2で議論）

## ○ キャラクター、漫画等の制作

例1) テレビ → 白黒からカラー化、ブラウン管から液晶、4K、8Kと発展している様をキャラクターの進化になぞらえて表現  
電話、冷蔵庫、洗濯機などを加えて「ファミリー」を構成

例2) 第60回を記念したキャラクター募集